

C-1 指導案

家庭科学習指導案

石川県立金沢伏見高等学校・教諭

指導日時・教室 平成17年10月19日(水) 5限目 教室名 被服室
対象生徒・集団 普通科 1年生 40人(内訳11H40人)
科目名 家庭基礎 (単位数 2)
使用教科書 家庭基礎 自分らしい生き方とパートナーシップ(出版社名 実教出版)

1 単元名 乳幼児の発達と保育・福祉

3 単元の目標

- ・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と保育及び子どもの福祉について理解する。
【知識・理解】
- ・子どもを生き育てることの意義を考える。【思考・判断】
- ・保育体験に意欲的に取り組み、子どもとの適切な接し方を身に付ける。
【関心・意欲・態度】【技能・表現】
- ・子どもの健全な発達のために親や家族及び社会の果たす役割が重要であることを認識する。
【思考・判断】

4 指導に当たって

(1) 生徒の状況

本校は生徒の個性伸長を図るという観点から、多様な選択科目を配した、自然科学・国際文化・人間福祉・普通の4つのコースを開設している。人間福祉コースがあることと、女子生徒の割合が高いこともあり、将来は保育士や幼稚園教諭になることを希望する生徒も多い。

しかし、事前に行った幼児に対する意識調査では31%の生徒が、「幼児に興味・関心がない」と答えている。また、77%の生徒が「幼児の気持ちがわからない」と答えている。

(2) 指導方針・方法

少子化が進み、児童虐待や育児放棄などが多発している中、子どもについて理解し、乳幼児に適切に対応できる力を育むことはとても大切である。そこで、実際に子どもたちと関わる保育体験活動を通して、幼児への興味・関心を高め、その後、活動時の様子をグループで話し合い、まとめと発表をすることによって、より深く幼児の発達の特徴を理解させたいと考えた。さらに、この学習を通して生徒の自己理解が深まり、進路選択の一助になることを期待した。

5 単元の指導計画(総時数 14 時間)

第一次	なぜ保育を学ぶのか	(1 時間)
第二次	子どもの発達	(3 時間)
第三次	親の役割と保育	(3 時間)
第四次	保育体験	(3 時間)
第五次	体験の記録作成	(2 時間)
第六次	保育体験の発表とまとめ	(2 時間)
1時	保育体験の発表	・・・本時
2時	保育体験の発表とまとめ	

6 本時の指導と評価の計画（第六次 第1時）

(1) 本時のねらい

- ・ 幼児の心身の発達の特徴と生活を理解している。【知識・理解】
- ・ 幼児の心身の発達の特徴に関心を持ち、子どもにどのようにかかわったらよいか考えようとする。 【関心・意欲・態度】

(2) 準備・資料等 プリント、コンピュータ、プロジェクタ、スクリーン

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
3	本時の学習課題を知る。	・「保育体験発表を通して、幼児の心身の発達の特徴と生活をより深く理解する。」という本時の学習課題を理解する。	・ 保育体験発表の前に本時の学習課題を板書して説明し、確認する。	
45	保育体験発表	<p>・ 自分たちが交流した幼児の①運動面②生活面③言葉④情緒⑤社会性（対人関係）について、班ごとに発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 幼児の心身の発達の特徴と生活を理解しよう。 </div> <p>・ 各班の発表を聞きながら、年齢ごとの幼児の特徴をまとめ、感想や意見を記録用紙に記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 幼児の心身の発達の特徴に関心を持ち、子どもとの適切なかかわりを考えよう。 </div> <p>・ 各班の発表に対して、質問や意見を出す。</p>	<p>・ 事前に、幼児の心身の発達の特徴が具体的に明記されているか、各班のスライドの内容を確認する。</p> <p>・ 声の大きさ、話すスピード等、わかりやすい発表を心がけるように伝える。</p> <p>・ 机間指導を行い、プリントの記入の状況を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ①運動面②生活面③言葉④情緒⑤社会性（対人関係）に着目するように声かけをする。 </div> <p>・ 各班の発表に対して、質問や意見が出やすいように声かけを行う。</p>	<p>幼児の心身の発達の特徴と生活を理解している。 【知識・理解】 （プリント）</p> <p>幼児の心身の発達の特徴に関心を持ち、子どもにどのようにかかわったらよいか考えようとしている。 【関心・意欲・態度】 （プリント・観察）</p>
2	次時の活動を知る	・ 次時は保育体験の発表の後、自己評価を行うことを知る。		